

# HOT & ほっと

あやせのこと、何でも知りたい…

## 市の花「ばら」に親しもう 市内のバラが見頃を迎えます



新緑がまぶしい爽やかな季節となりました。5月中旬ごろには、市の花であるバラが見頃を迎え、市内の城山公園などでは、赤や黄、白、ピンクなど色鮮やかな花を咲かせます。

バラは5月～6月と9月～10月にかけて、きれいな花を咲かせ、訪れる人たちの目を楽しませてくれます。リフレッシュ効果があるといわれているバラの香りで、癒されてみませんか。

問 秘書広報課 ☎70・5606、みどり公園課 ☎70・5627

### 城山公園の花木園

城山公園の花木園(早川城山3-4-1。3500平方メートル)では、およそ200平方メートルに、プリンセスアイコ、ラプリーフェアリーのほか、ピースやブルーリバー、オーストリアーナなど70種、約600本が植えられています。



「コスモス」「スマレ」など10種類を選定しました。

選ばれた10種類の中から、広報紙や学校などを通じて広く住民から町の花の投票を求めたところ、バラが最も多くの票を集めました。

この結果を受け、同委員会での慎重な審議をした結果、最も応募の多かったバラを選定し、12月1日に「町の花」として制定しました。昭和53年11月1日には、市制施行に伴い、「市の花」に変更しました。

シンボルマークのデザインは、イラストレーターが作成した作品の中から選考したもので、バラの花の柔らかなさの中に、あやせの「あ」の字をアレンジして、未来に無限の夢と希望と安らぎのある綾瀬をイラストにしたものです。



### なぜ市の花がバラに?

綾瀬を美しい緑と花にあふれた人間性ある明るく楽しい環境にするためのシンボルとして、「町の花」を制定するために、昭和49年4月に「町の花、町の花」制定審査委員会を開催し、候補となる花の種類として「アヤメ」

### 市の花「ばら」を広めるために

市では、平和への願いを込めて、全国のいろいろな所にピースバラを贈っています。平和の花「ピースバラ」とは、「ピース(平和)」という種類のフランスで作られたバラで、黄色に

ピンクの縁取りがある優雅な花です。第2次世界大戦の終わりを記念して名前が付けられ、「愛と平和のしるし」として世界の人々に愛されています。

ほかには、マンホールのふた、歩道などのタイル、市の刊行物や封筒にバラを用いるなど普及に努めています。



ピースバラ

### バラを育ててみませんか

バラは日当たりや枝の剪定、病虫害の防除駆除など、季節ごとの手入れが必要であることから育てることの難しさがありますが、適した環境を整えてあげれば、家庭でも育てることができます。

手入れが簡単でたくさんの花が咲くつるバラなど、初心者でも育てやすい品種はたくさんあるので、バラの栽培に挑戦してみませんか。

5月15日に開催する「ローズフェスタ」では、バラの育成講座などを実施します。



## ローズフェスタを開催します

バラの普及を目的に「ローズフェスタ」を開催します。バラ育成講座や苗木・バラ配布、バラ苗鉢販売などを行います。

時 5月15日(土) 10時～13時(雨天中止)  
場 城山公園 主 あやせばらの会  
問 みどり公園課 ☎70・5627

### ボランティア団体「あやせばらの会」

光綾公園再整備をきっかけに、市の花である「ばら」を通じて、きれいな街にしていきたいという思いから、令和3年4月に設立。メンバー10人がバラの栽培や育て方の勉強会などの活動を行っています。



あやせばらの会代表 橋本 一典さん

はしもと・かつのり: 峰松園 代表。大学在学中から花や樹木について学び、長年にわたり峰松園で苗木や苗木の生産販売を中心に手掛ける。平成30年から、バラ育種家の河合伸志さんや京成バラ園芸(千葉県八千代市)などからアドバイスを受けながら、市内吉岡でバラの栽培を始める。

### 【橋本 一典さんインタビュー】

―バラを育てようと思ったきっかけは何ですか?

バラを育てることについて、古塩市長と話す機会があり、「綾瀬でバラを広めていけないか」といった話をする中で、まずは何かやってみようと思ったのがきっかけです。

市が光綾公園の再整備でバラ園を大規模に改修する計画があると知り、「綾瀬市でバラが育てられないかな」という何気ない会話から、有志でボランティア団体を立ち上げました。

―バラは育てるのが難しいというイメージがありますが?

バラは他の植物に比べて病気になるやすく、育てるのが難しいというイメージを抱く人が多いと思います。まずは

玄関先や食卓などに置けるようなミニバラを栽培するなど、身近に感じられるよう広めていけたらと思っています。―今後どのような活動を考えていますか? まずは少しずつ市内でバラを広める活動ができたらと考えており、定期的な活動の中でメンバーが増えていくといろいろな活動ができるのではと思っています。バラ育成相談のような気軽に相談を受け付けられる体制づくりができるといいなと考えています。



## 個性のある新時代のバラ園へ

### 光綾公園再整備

令和7年春の全面供用開始に向け、光綾公園の再整備を行っています。令和6年度には、バラ園のオープンを予定しています。バラ園は「観光資源として魅力を高める」「市の花『ばら』の普及」を目的として再整備します。

個性のある新時代のバラ園として、世界平和への願いを込めて、フォトジェニックな世界各地のテーマガーデンで構成し、世界を旅するように散策することができます。バラ、樹木、宿根草、一年草のコンビネーションによる見応えのある空間を演出します。

バラ園は主軸となる2つのエリアと、世界の各地域を表現した8



つのテーマガーデン、バラ園の背景となる現況地形を生かした築山エリアを整備します。

病害に強く、丈夫で維持管理しやすい品種を選定し、樹木や宿根草などは、テーマガーデンごとに特色ある植物で、バラとの組み合わせが楽しめる品種を選定しています。

市民に「市の花『ばら』」をPRし、バラの文化を届ける発信拠点として、専属のガーデナーや市民ボランティアなどと共に作り上げていきます。

横浜イングリッシュガーデンスーパーバイザーの河合伸志さん監修により、綾瀬市の観光スポットとしてブランド力のあるバラ園を目指します。

再整備の状況に関する情報は、市ホームページをご覧ください。

問 みどり公園課 ☎70・5627

かわいたかし: 育種家、横浜イングリッシュガーデンスーパーバイザー、NHK「趣味の園芸」講師、第33回全国都市緑化よこはまフェアアドバイザー(植物管理)。全国のバラ園などで育成診断、植栽プランニングやデザインに携わり、国内外のコンクールを受賞した数多くのバラの新品種を作出。



河合 伸志さん